



第1回 全体会（令和4年9月26日開催）

委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
1	有馬委員	【第2期西成区地域福祉計画について】 地域福祉計画の主体が分かりにくい。主体はどこで、どの部分を中心に実施してもらうのか、行政はどういう形で協力、支援を行っていくのか説明をお願いしたい。現状、決まっていないのなら、その旨回答がほしい。	実際に話をさせていただいているのは、地域活動協議会、連長連絡会、ネットワーク委員ですが、コロナの状況もあり、少し止まっている状況です。その中で、具体的に関わっていただいているのが、ネットワーク委員で、ふれあい喫茶の再開や、担い手の拡大等を行っていただいています。しかし、7月以降、活動は止まっている状況です。	地域福祉計画では、「住民」1人1人が主体です。話し合う場合は、町会、民生委員、地区社協等が主催する会議の場だけでなく、隣近所や気になることを話し合うものまで、特に中心を定めるものではありません。 行政は、地域からの相談を受け、問題解決に向けて専門職が支援します。地域での孤立化を防ぐために、地域で行われる見守り活動につないだり、必要なサービスを地域の方々と協力して話し合います。必要に応じて公的サービスを決定し、地域で暮らし続けることができるよう支援を行っています。	保健福祉課 (地域福祉)
2	尾上委員	【旧西成保健所の跡地活用について】 旧西成保健所が最近解体され、更地になっていた。今後、このような跡地の活用方法等を検討されているのであれば教えてほしい。	旧西成保健所の跡地については、健康局所管の土地となっています。区として、売却に出されたということは聞いていますが、それ以上の情報は把握していません。	当日の回答のとおり	総務課
3	尾上委員	【梅南集会所に廃止について】 梅南集会所が廃止になるという話を聞いた。そこには、保育所とは別に子どものための施設があるように記憶している。区役所で把握している情報があれば教えてほしい。	保育所については現在、建て替えを行っており、新しい所に移る予定となっています。施設の活用方法については、地域からもお声をいただいているところであり、こども青少年局と調整している段階で、まだ具体的な話は決まっています。	当日の回答のとおり	市民協働課
4	伊藤(悠)委員	【将来ビジョンに関連したSDGsについて】 将来ビジョンの柱のうち、「みんなが安心して暮らせるまち」に関連するSDGsに13番の項目が設定してあるが、対応する施策がどれなのか教えてほしい。	SDGsの目標13の1に「全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性(レジリエンス)及び適応の能力を強化する」とあり、これが将来ビジョンに記載のある、「大規模地震などの自然災害へ備え、安心して暮らせるまちをつくります」に関連するところで記載しています。	当日の回答のとおり	市民協働課

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
5	伊藤(悠)委員	【公立保育所の民営化について】 大阪市の公立保育所が全面廃止という方針を伺った。民営化されれば、公立だからこそできた支援等ができなくなってしまうのではないかという懸念がある。公立保育所の撤退に伴い、どのようなことが区としてできるか考える必要があると思う。	市全体の方針は、民営化していく中で、セーフティーネットとして必要な公立保育所を残していくという方針です。民営化したことで、サービスが低下しないように関係局と連携していきたいと思えます。	当日の回答のとおり	保健福祉課 (子育て支援)
6	伊藤(悠)委員 (意見票)	【子どもの学ぶ力について】 将来ビジョン柱1の課題の中で学力向上が上がっているが、一般に学力向上というとテストの得点を上げることだと認識されるのではないか。本来の学ぶ力とは、安心感や人との関わり、自然が身近に感じられる環境の中で身につけていく共感力や自立への生きる力のことである。狭義の学力、点数アップをうたうのは商業ベースの企業経営にまかせ、こどもに関わる人々を支える仕事が区の大変な役割なのでは。学校、保育所、子育て支援の現場はギリギリの人員、労働条件の下、必死にこどものため、公のために働いておられる。官民協働のネットワーク機能を活用していきたい。	-	西成区では児童生徒の学習習慣の定着や学力向上に向けた取組みだけでなく、課題を抱える児童生徒が健全な学校生活を送ることができるような支援、また、子どもたち自身で課題や困難を乗り越える力を育むことができるような居場所づくりなど、すべての子どもが学び、健やかに成長することができるように取り組んでいきたいと考えています。	保健福祉課 (子育て支援)
7	谷崎委員 (意見票)	【ジャガピーパークについて】 もと津守小学校のジャガピーパークを、これからも続けてほしい。また、ジャガピーパークが終了となっても、小学校跡地は、地域のために活用してほしい。	-	プレーパーク事業は、子育て環境の充実に向けて西成特区構想の事業として取組みを進めております。第3期特区構想に向けて、より効果的に実施できるよう検討を進めていきたいと考えています。 また、小学校跡地につきましては所管であります教育委員会事務局に情報を共有していきたいと考えています。	保健福祉課 (子育て支援)
8	東委員 (意見票)	【フィールドワーク資料の閲覧について】 フィールドワークであいりん地域に行ったが、その時に配付されたニューズペーパーなどを閲覧板やSNSで閲覧できないのか。	-	特区構想部会のフィールドワークで配付された資料の内容は、各事業のホームページでご覧いただくことができます。 ・ど～ん！と西成(西成版サービスハブ構築・運営事業) https://servicehub-nishinari.jp/ ・ひと花センター(西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業) https://www.hitohanap.org/	総務課

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
9	親川委員 (意見票)	【地域活動の担い手について】 将来ビジョン「柱2.人と人がつながりにぎわうまち」 地域活動の担い手の固定化及び高齢化の課題。若年層の活動参画の仕組みづくりについて、どのように取り組むのか具体的な考え方・案を教えてください。	-	新たな西成区将来ビジョンは2023年から2027年までの5年間にめざす西成区の将来像と、その将来像の実現に向けた施策展開の方向性等をとりまとめ、区民の皆さまに明らかにするものです。 新たな将来ビジョン策定後の単年度の行動計画をこれから策定してまいります。今後も地域活動協議会の情報発信の取り組みを支援するとともに、西成区役所SNS(Facebook・Twitter)等を活用した地域活動の発信や、区主催のイベント等における地域活動に関する広報など、若年層に向けた積極的な情報発信を行います。	市民協働課
10	親川委員 (意見票)	【町会への加入について】 地域を「考える」場づくり支援の継続的取組「町内会への加入勧誘活動を積極的に実施」について、地域住民の一番身近な町会への加入が減少傾向になっている現状の中、活動の様子等啓発ビラの作成、町内会役員の研修等の予定はないでしょうか。	-	今年度中に、自治会への加入促進に関するチラシ等の作成を予定しております。これを活用し、西成区役所及び区内各所での配架や転入者へ配付するとともに、不動産団体と連携した取り組みを進めます。あわせて、区ホームページやSNS(Facebook・Twitter)等を活用した広報を行います。 町内会に関しては、地域住民のみなさまが自主的に安全で暮らしやすいまちづくりのための活動を行っていただいていると認識しておりますので、役員のみなさまを対象とした区役所による研修等の予定はございません。	市民協働課